

重点項目

★伴走型支援による会員事業所の支援強化 ★姫路経済研究所による実態把握と現状分析 ★IT化促進を中心とした生産性の向上 ★広域連携によるものづくり・観光・ブランド育成

取り組みテーマ		
<p>1. 企業力の向上 ～会員事業所に寄り添った伴走型経営支援の充実～</p> <p>(1)創業支援 創業希望者・創業者・第二創業者等、創業期における支援の充実に取り組む。</p> <p>①創業ステーションによる支援の充実 ・事業計画の策定支援 ・広報支援 ・販路開拓支援</p> <p>(2)会員事業所のビジネス総合支援 経営力の向上だけでなく、従業員も含めた総合的な企業力の向上に関し、地区担当制による巡回訪問を中心とした積極的な支援に取り組む。</p> <p>①若者・女性・高齢者・外国人等を含めた人材確保支援及び各種セミナーやジョブ・カードサポートセンターを通じた人材育成支援 ②生産性向上のためのIT化・グローバル化支援 ③販路拡大 ④各種支援(金融・資金繰り、税務・法務・労務、リスク対策等)</p> <p>(3)事業承継支援 会員事業所の転換・衰退期における各種支援に取り組む。</p> <p>①事業の円滑な承継に関する支援 ②各種情報の収集・整備・発信 ③関係機関等との連携</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地区担当制、創業ステーション、姫路ものづくり支援センター、街の駅、ジョブ・カードサポートセンター等</p> </div>	<p>2. 地域力の向上 ～中・長期的視点から地域経済を俯瞰した、行政への提言と連携や商工会議所事業の充実～</p> <p>(1)姫路経済研究所における調査・分析 本格的な人口減少社会を迎えるにあたり、東京一極集中から脱却し、ビッグデータ等を活用した地方での独自の取り組みが必要とされている。姫路の現状の把握と課題の洗い出しおよびそれらへの対応が喫緊の課題である。</p> <p>①企業を取り巻く環境に関する調査・研究 ・人口動態に関する調査 ・産業構造に関する調査 ・観光振興に関する調査 ②企業経営に必要な各種情報の収集・分析・調査(景気動向調査等)</p> <p>(2)ものづくり産業における支援体制・情報発信の強化 重厚長大産業により成長してきたものづくりの強みを活かし、ものづくりのまちとして持続的な発展に向け取り組む。</p> <p>①播磨圏域におけるワンストップ相談窓口機能である「姫路ものづくり支援センター」の充実 ②成長産業・新産業に関する情報収集・発信(セミナー・先進事例・改善事例の情報・発信) ③ものづくり拠点としての連携強化(産官学・関係機関)</p> <p>(3)中心市街地エリアの魅力向上への取り組み 地域の魅力を高められるよう、中心市街地エリアの魅力向上や基盤整備等、連携中枢都市機能の充実に向け取り組む。</p> <p>①播磨の中核都市としての機能強化と魅力の発信(中心市街地エリアの魅力向上、広域連携の強化、地域の一体感の醸成) ②姫路駅周辺整備に関する提言 ③道路・港湾等社会インフラ整備に関する提言</p> <p>(4)魅力ある観光資源の再認識・発掘・ブランド化による賑わいづくり 姫路城を軸とした歴史・文化資源だけでなく、新たな観光資源の発掘や、地域のブランド化に取り組むとともに、観光戦略の効果的な実行に向け取り組む。</p> <p>①観光資源を熟知し、情報発信及び具体的な戦略が実現できる体制づくり ②歴史・文化・産業のほかトップスポーツ振興等、あらゆる広域観光資源の再認識・発掘・ブランド化</p>	<p>3. 会員サービス力の向上 ～企業力・地域力の向上を実現させるための基盤整備～</p> <p>(1)提言力の向上 唯一の地域総合経済団体として、規制緩和及び新たな支援に向けた施策提言を行い、会員事業所及び小規模事業者の満足度向上に取り組む。</p> <p>①会員ニーズを把握・集約し、適切な施策を立案 ②商工会議所事業及び行政への要望活動にタイムリーに反映 ③組織力の強化(会員数の増強)による発言力の向上</p> <p>(2)情報発信力の向上 氾濫する情報社会の中で、正確な情報収集及び分析を行い、タイムリーに情報発信するため、広報の充実を図る。</p> <p>①情報収集・分析及びタイムリーな発信 ②広報媒体の充実</p> <p>(3)関連団体等との連携強化 行政や関連機関だけでなく、広域連携も含めたネットワークの強化に取り組む。</p> <p>①行政等諸機関、産学官金連携等の強化 ②日本商工会議所・関西及び兵庫県下商工会議所等との連携強化</p> <p>(4)運営のための収益強化 地域力・企業力向上の取り組みを安定して実行できる収益基盤の強化に取り組む。</p> <p>①共済事業のリニューアル等新たな収益源の確保 ②会館貸室の利用促進及び耐震改修工事等適切な維持管理</p> <p>(5)事務局機能の強化 スピーディに対応できる仕組みづくりや職員の能力向上、情報システムの活用等による生産性の向上及びセキュリティの向上、創立100周年に向けた準備に取り組む。</p> <p>①事務局内の円滑な情報共有等、クイックレスポンスを可能とする仕組みづくり ②研修制度及び計画的な研修受講による職員の課題解決力の向上 ③刷新した基幹システムのさらなる効率利用による生産性の向上 ④情報システムを中心としたセキュリティの充実及びコンプライアンスの遵守 ⑤創立100周年に向けた準備</p>